

大学入学共通テスト について

大阪星光学院中学校・高等学校 石原 健志

英語（リスニング）

 第一学習社

① 「共通テスト」について

■共通テストリスニング：旧センター試験より問題数および配点が増加

- ・共通テストリスニングは旧センター試験と比較して、大問数 4 問から 6 問に、小問数は 25 問から 37 問に増加しました。なお、実質的な試験時間は 30 分で、旧センター試験と変化はありませんでした。
- ・配点は旧センター試験の 50 点満点から 100 点満点になりました。ただし、国公立大学に出願する場合など、共通テストのリーディングとリスニングの点数の比率は大学ごとに異なるので個別に確認する必要があります。

■問題形式は試行調査を踏襲：ただし音声の流れる回数に注意！

- ・問題形式の概要：問題形式は試行調査に近い形でした。ただし、第 1 問と第 2 問のみ音声を 2 回聞くことができますが、第 3 問以降は 1 回しか聞くことができません。聞いた情報は、メモを取るなどして残しておくことが大切です。

第 1 問 A	短い発話を聞き、それが表す意図に最も近い英文を選ぶ問題。	2 回読み。
第 1 問 B	短い発話を聞き、それが表す意図に最も近いイラストを選ぶ問題。	2 回読み。
第 2 問	対話と質問を聞いて、その内容に合うイラストを選ぶ問題。	2 回読み。
第 3 問	特定の状況の対話を聞いて、その質問に対する答えを選ぶ問題。	1 回読み (*試行調査では 2 回)。
第 4 問 A	説明を聞き、グラフと表を完成させる問題。	1 回読み。
第 4 問 B	4 人の説明を聞き、条件に合うものを選ぶ問題。	1 回読み。
第 5 問	講義を聞き、ワークシートの完成、内容把握、およびグラフの情報を組み合わせ て答える問題。	1 回読み。
第 6 問 A	2 人の対話を聞いて、それぞれに関する質問に答える問題。	1 回読み。
第 6 問 B	4 人の意見交換を聞いて、賛成の人数を把握する問題や図表を選ぶ問題。	1 回読み。

■「共通テストリスニング」の「知識・技能」

- ・「知識・技能」は英語の特徴やきまりに関する事項を指します。具体的には「句読法」「語、連語及び慣用表現」「文構造及び文法事項」といった言語材料や音声に関する知識を指します。この知識や技能を駆使して、「思考力・判断力・表現力」を問う問題に取り組むことになります。
- ・文法面では、時制の理解を問う問題が出題されています。たとえば、第1問Aの問3の“... Yuji moved from Chiba the day after graduation.”のような過去形の英文を聞き、現在の状態をたずねる問題が出題されました。これは、知識としての文法ではなく文法の活用を意識した設問と言えるでしょう。
- ・音声面では、代表的な音変化である、1) 短縮 (contraction), 2) 脱落 (elision), 3) 連結 (linking), 4) 同化 (assimilation), 5) 強形と弱形 (strong & weak form), 6) 抑揚 (intonation) だけでなく、World Englishes ともいうべきアメリカ英語以外の読み上げ（イギリス英語や英語を母語としない話者による読み上げ）も確認されました。日本語母語話者と思える話し手による英語の発話も聞かれましたが、そこまで発音が極端ということはありませんでした。

■「共通テストリスニング」の「思考力・判断力・表現力」

- ・共通テストで問われる「思考力・判断力・表現力」は主に「身近な話題」や「なじみのある社会的な話題」に関して、対話・会話・アナウンス・指示・ニュース・講義・ディスカッションを通じて情報を聞き取り、概要把握や要点整理をおこない、比較・判断をすることです。
- ・英文の内容がそのまま正解の選択肢となっているわけではなく、そこから得られる情報にフォーカスを置いた設問もあります。たとえば、第4問Bのように4つのミュージカルの特徴を聞き、与えられた条件に合うものを選ぶ問題が見られます。このように、聞き取った内容について考え、判断を必要とする問題が多くあります。

■さまざまなコミュニケーションの場面、幅広い話題について出題！

- ・設問ごとにさまざまなシチュエーションが設定されています。それぞれ場面をイメージする力が求められています。
- ・出題されるトピックは日常会話ばかりではありません。グラフの読み取り、意見のとりまとめ、講義内容の把握など、多岐にわたります。内容的にやや抽象度の高い「社会的な話題」（第5問など）についても取り上げられていますし、場合によっては「4人の会話」（第6問B）のような複雑な場面も登場します。
- ・今回出題されたシチュエーションが今後も連続するとは考えにくいので、話題の内容に左右されない確かな英語のリスニング能力を身に付ける必要があります。

② リスニングの「共通テスト」出題傾向と対策

■「知識・技能」の面では英語の音声に慣れることが大切！

- ・「読めない音は聞こえない」ので、まずは音読活動を通じて英語の音声に慣れることが大切です。
- ・英語の音読をしたり、リスニングをしたりする場合は、その意味の理解も徹底しましょう。意味がわからないまま音声を聞いたり音読したりしても、ただのノイズとして認識されたり、オウム返しのような形で終わってしまいます。まずは英語の音声とその意味の一致を意識した学習をおこなうことが大切です。そして最終的には英語を聞いて頭の中でイメージ処理ができるようになると理想的です。
- ・英語のイメージ処理とは、たとえば日本語の母語話者が切れ目のないスポーツ実況を日本語で聞いてもその状況をイメージすることができるということと同じです。このようなイメージ処理が英語で適切にできるようになるのが理想的なリスニング力と言えるでしょう。
- ・音読をするときは、先に挙げた6つの音変化の中でも、特に、抑揚（intonation）を意識しましょう。そうすることで、どんな要素が強調されているか、どのような情報に重点を置きたいかがわかるようになります。

■「思考力・判断力・表現力」を養うためのトレーニング方法の紹介

- ・「思考力・判断力・表現力」は、リスニングを通じて聞き取った情報から要点をまとめたり、概要を把握したり、情報を分類したりすることです。このような「情報処理の力」を向上させるためには、パターン認識が重要になります。共通テストリスニングの出題傾向をふまえた教材を使ったり、授業でも「情報処理」に主眼を置いたワークシートを扱ったりするのがよいでしょう。ただし、あくまで基本的な音声指導が前提となるので、まずは音声に関する知識を育むトレーニング（音読、シャドーイング、ディクテーションなど）が大切です。
- ・ディベートやディスカッション、講義やプレゼンテーションなどの展開に慣れるためには、普段の言語活動（授業や家庭学習）でそういった場面を想定したコミュニケーション活動をおこなっておくことは有用でしょう。

■設問別の対策には何を聞き分けるべきかという「予測」が大切！

- ・与えられた選択肢から「何を聞き分けるべきか」を予測しましょう。そうすることで、放送される問題文からどの選択肢が正しくて、どの選択肢が誤りかの判断がつきやすくなります。たとえば、第5問のような図表問題で言えば、問32のような最も情報量の多い選択肢の内容を先読みするのも一つの手です。このように、どのような情報をどのように処理するかを前もって想定したうえで問題文を聞くようにするとよいでしょう。
- ・また、長い英文を聞く必要があるときはメモを取ることが有効です。単に聞いているだけではどうしても内容を忘れていってしまうので、設問の選択肢をふまえたうえで、大切だと思う情報のメモを取るのがよいでしょう。そうすることにより、より多くの情報を頭に残すことができますし、1回読みにも対応できるようになります。

3 リスニングの問題構成

		2018 年 2 月試行調査 (バージョン A)	2018 年 2 月試行調査 (バージョン B)	2018 年 11 月試行調査	2021 年 1 月共通テスト
第 1 問 A	問題数 (配点)	全 3 問	全 5 問	全 4 問 (各 3 点)	全 4 問 (各 4 点)
	読みの回数	2 回読み	2 回読み	2 回読み	2 回読み
	CEFR レベル	A1 程度	A1 程度	A1 程度	
第 1 問 B	問題数 (配点)	全 2 問	全 4 問	全 3 問 (各 4 点)	全 3 問 (各 3 点)
	読みの回数	2 回読み	2 回読み	2 回読み	2 回読み
	CEFR レベル	A1～A2 程度	A1～A2 程度	A1～A2 程度	
第 2 問	問題数 (配点)	全 3 問	全 5 問	全 4 問 (各 3 点)	全 4 問 (各 4 点)
	読みの回数	2 回読み	2 回読み	2 回読み	2 回読み
	CEFR レベル	A1～A2 程度	A1～A2 程度	A1～A2 程度	
第 3 問	問題数 (配点)	全 3 問	全 5 問	全 4 問 (各 4 点)	全 6 問 (各 3 点)
	読みの回数	2 回読み	1 回読み	2 回読み	1 回読み
	CEFR レベル	A1～A2 程度	A1～A2 程度	A1～A2 程度	
第 4 問 A	問題数 (配点)		全 2 問	全 2 問 (4 点／各 1 点)	全 2 問 (4 点／各 1 点)
	読みの回数		1 回読み	1 回読み	1 回読み
	CEFR レベル		A2～B1 程度	A2～B1 程度	
第 4 問 B	問題数 (配点)	1 問	1 問	1 問 (4 点)	1 問 (4 点)
	読みの回数	2 回読み	1 回読み	1 回読み	1 回読み
	CEFR レベル	B1 程度	B1 程度	B1 程度	
第 5 問	問題数 (配点)	全 4 問	全 4 問	全 2 問 (各 4 点)	全 7 問 (2～4 点)
	読みの回数	2 回読み	1 回読み	1 回読み	1 回読み
	CEFR レベル	B1 程度	B1 程度	B1 程度	
第 6 問 A	問題数 (配点)	全 2 問	全 2 問	全 2 問 (各 4 点)	全 2 問 (各 3 点)
	読みの回数	2 回読み	1 回読み	1 回読み	1 回読み
	CEFR レベル	B1 程度	B1 程度	B1 程度	
第 6 問 B	問題数 (配点)	全 2 問	全 2 問	全 2 問 (各 4 点)	全 2 問 (各 4 点)
	読みの回数	2 回読み	1 回読み	1 回読み	1 回読み
	CEFR レベル	B1 程度	B1 程度	B1 程度	

4 リスニングの設問別問題分析

第 1 問 A	単一の人物の発話を読み上げられ、それに最も近い意味の短い英文を選択する問題。 【読み上げ回数】2 回 【配点】各 4 点 【スクリプト】10～20 語
---------	---

◆問われる知識・技能◆

第 1 問は単一の人物の発話からその状況を答える問題。1) 短縮 (contraction), 2) 脱落 (elision), 3) 連結 (linking), 4) 同化 (assimilation), 5) 強形と弱形 (strong & weak form), 6) 抑揚 (intonation) のような音変化に注意を向ける。特に強形 (強く発音される) は重要な要素なので注意して聞く。

問 1: Can I have some more ...では連結や同化が見られる。その分、後に続く juice に情報の力点が置かれているので強形で発音されており聞き取りやすい。また、続く I'm still thirsty.では thirsty が強形で発音されており、理解の助けとなる。

問 2: Where can we go this weekend? Ah, I know. How about Sunset Beach? は, this weekend (今週末) から、未来の予定について話していることがわかる。How about ...?は「…はどうですか」。

問 3: To start working in Hiroshima next week, ...は「来週、広島で働き始めるために」という目的を表す。これは to-不定詞の副詞用法である。

問 4: I gave him some after lunch.では脱落や連結により gave him some ...のあたりが聞き取りにくい。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

選択肢に含まれる情報量が多いので、それぞれの選択肢の内容をすばやく読み取るために、キーワードを「○」で囲むなど工夫が必要だろう。また、せっかく音声聞き取れても意味がわからなければ正解を選ぶことはできないので、単語と発音をともに学習する意識を持つようにすることも大切である。

問 1: Can I have some more juice? は「もう少しジュースをもらってもよいですか」という依頼の文である。また thirsty は「のどが渴いた」。この内容が把握できれば選択肢② The speaker is asking for some juice.が正解だとわかる。ask for ...は「…を求める」。選択肢③の serve は「(飲み物や食べ物など)を出す」である。なお、juice は通例「100%ジュース」を指す。「清涼飲料水」は soft drink がふつう。

問 2: How about Sunset Beach?が「提案」の意味だとわかれば選択肢④ The speaker wants to visit the beach.が正解だとわかる。紛らわしいのは選択肢① The speaker wants to find the beach.だが、最初の Where can we go this weekend?が「行きたい場所」をたずねているので選択肢①は誤り。

問 3: To start working in Hiroshima next week,の後に続く文から、この to-不定詞は目的を表すと考える。続く文 Yuji moved ...は過去形であることから、選択肢①②④は不適。

問 4: 「私は David にアイスクリームをあげた」というのは選択肢② David got ice cream from the speaker today.と同じ。前半部の否定文に惑わされないように注意する。

第 1 問 B

単一の人物の発話を読み上げられ、その内容を表すイラストを選択する問題。

【読み上げ回数】2 回

【スクリプト】10～20 語

【配点】各 3 点

◆問われる知識・技能◆

言語イメージ（イラスト）と意味を音声（リスニング）を通して結びつける問題。問 5 と問 6 はそれぞれのイラストに最小限の違いしかないので、聞くポイントを絞りやすいが、問 7 に関しては絵を描く人と描いている絵がそれぞれ異なるので注意が必要である。

問 5：Almost everyone ... is wearing a hat.が答えのポイント。at the bus stop が同化や脱落で聞き取りにくくなっているが、解答には直接影響はない。

問 6：Nancy already has a lot of striped T-shirts and animal T-shirts.では striped（ストライプ柄・縞模様柄）と animal（動物柄）という語彙の知識が問われている。

問 7：The girl's mother is painting a picture of herself.では再帰代名詞をうまくイメージできるかが問われている。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

第 1 問 B では選択肢として与えられたイメージと音声をいかに結びつけるかがポイントとなる。今回は「帽子をかぶっている人の数」「T シャツの柄」「だれが何の絵を描いているか」といった具体的なものが出題された。

問 5：Almost everyone が「ほぼ全員」を意味することから、選択肢②：1 人を除いて全員が帽子をかぶっているイラストが正解。選択肢①「5 人全員帽子をかぶっている」>選択肢②「5 人中 4 人帽子をかぶっている」>選択肢③「5 人中 1 人帽子をかぶっている」>選択肢④「だれも帽子をかぶっていない」のように、順を追うごとに帽子をかぶっている人の数が減っている点でわかりやすい選択肢だといえる。

問 6：Nancy がほしい T-shirts の柄を答える問題。ストライプの柄と動物の柄の T シャツはすでにたくさん持っているという情報と Now she's buying another design.から、自分が持っていない柄の T シャツを購入しようとしているとわかるので、♡柄の T シャツが正解。

問 7：The girl's mother is painting a picture of herself.という情報から、イラストにある大人の女性と女の子の関係が母と娘の関係だと推測する。a picture of herself が表すのは the girl's mother である。

第2問

2人による対話を読み上げられ、最後に質問の英文を読み上げられる。その答えとして最も適切なイラストを選択する問題。

【読み上げ回数】2回

【スクリプト】20～30語

【配点】各4点

◆問われる知識・技能◆

第2問は第1問Bと同様に適切なイラストを選ぶ問題だが、第1問Bが1人の発話であったのに対して、第2問は2人の対話となっている点がポイントである。2人のやり取りの中で与えられた情報が追加・修正されていく点がポイントである。対話に応じてイメージが段階的に作られていくので、対話を正確に追いかける能力が要求される。

問8：Mariaのwater bottle（水筒）がどのイラストかを答える問題。質問文Which water bottle is Maria's?も読み上げられる。a big handle「大きな柄」、on the side「側面に」、a strap「ストラップ・ひも」といった要素が特徴となる。

問9：対話の最初で女性がWhat about this animal one?と言っているのに対して、男性はIt's cute, but robots should be able to do more.と述べている。女性の提案Like the one that can clean the house.に対して男性がExactly.と応じており、男性がほしいのはロボットタイプで掃除ができるものだとわかる。

問10：garbage bags「ゴミ袋」、... be provided「…が配られる」、it's sunny today「天気は晴れ」などの表現を理解する必要がある。

問11：across from ...「(通路を挟んで) …の向かい側の」、next to ...「…の隣」、at the end「突き当たりの」、the restrooms「お手洗い」。特に場所を表す表現に注意する。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

設問文の「対話の場面が日本語で書かれています」から状況を把握するとよい。そのうえで英語の音声聞きながら正しいイラストはどれかを考える。

問8：対話の中のon the sideは「コップの側面」か「水筒本体の側面」かはあいまいなのだが、与えられたイラストはコップのない選択肢①を除き、すべての水筒のコップには柄がついていることから、コップの柄は設問とは関係ないと判断できる。Does it have a big handle on the side?という質問に対して、No.と答え、ストラップがついて述べていることから選択肢②が正解だとわかる。

問9：質問文：Which robot will the man most likely vote for?から男性が投票したいロボットを選べばよいとわかるので、ロボット型の掃除ができそうな選択肢④が正解だとわかる。なお、vote for ...は「…に投票する」が通常の意味だが、口語では「…を提案する」の意味がある。

問10：選択肢のイラストには「手袋」「帽子」「ゴミ袋」「ほうき」が描かれているが、対話の中にはっきりと出てくるのはgarbage bags（ゴミ袋）だけである。ほかのものについては、対話の内容から判断する。Don't you need garbage bags?という問いかけに対し、No, they'll be provided.と答えていることから、ゴミ袋を持っていく必要はない。you could get pretty dirtyとit's sunny todayから、必要なものは手袋と帽子だとわかるので、選択肢①が正解だとわかる。

問11：男性がエレベーターの場所をたずねているのに対し、女性がnext to the lockers across from the restrooms「お手洗いの向かい側のロッカーの隣」およびjust before the stairs「階段の手前」と言っていることからエレベーターの位置は選択肢①だとわかる。

第3問

2人による対話を読み上げられ、その答えとして最も適切な語句や文を選択する問題。

【読み上げ回数】1回

【スクリプト】40～50語

【配点】各3点

◆問われる知識・技能◆

第3問も2人の対話であることがポイント。2人のやり取りの中で与えられた情報が追加・修正されていくので、それを正確に把握する。また、質問文に事前に目を通し、「聞くべきポイント」を把握すれば、あとはキーワードを聞き取るだけで正解を導くことができる。

問12：be busy ～ing「～するのに忙しい」、rehearse「リハーサルをする」などが重要な表現。

問13：Where do these boxes go?や Put them on the shelf, in the back, and then put the cans in front of them, ...が音声変化を起こしており、やや聞き取りにくい点に注意。

問14：Didn't you see ...?「…を見なかったの?」、definitely「間違いなく」など確認の表現に注目する。
また、must have sent it to the wrong person は、〈must have+過去分詞〉(…したに違いない)の表現が使われている。

問15：イギリスにいる弟が東京の姉のところを訪れる際の予定について、姉の考えをたずねる問題。音声がいギリス英語である点に注意。

問16：質問文で「男性の機嫌が悪い理由」をたずねている。be sold out「売り切れ」、upset「気落ちしている」などの表現に注目する。

問17：イギリス英語の音声である。the prime minister「首相」、film「映画」などの表現に注目する。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

第3問では質問文も提示されている。これをヒントに正しい答えを導く。

問12：卒業生が出演するミュージカルを見に行こうとして、先生はI'd love to!と応答するものの、その直後に There's a teachers' meeting that day, and I can't miss it.と述べている。that day はミュージカルがある April 14th のことなので、先生がその日にすることは選択肢①だとわかる。

問13：質問文に What will be put away first?とあるので、「最初に片付けるもの」を考える。対話の中の we'll use the cans first に注意。これは「缶を最初に使う」と述べているのであり、最初に片付けるのは Put them on the shelf, in the back, 「棚の奥のほうにそれらを入れてね」の them=boxes である。したがって選択肢②が正解。

問14：対話の最終文 I must have sent it to the wrong person が選択肢③ The woman didn't get an email from the man.と一致する。

問15：対話の最終文 you never know exactly when they will bloom, but the weather will be nice が選択肢④ The weather won't be so cold when he comes.と一致する。

問16：男性の最後のセリフ when I tried to buy one yesterday, they were already sold out でチケットが買えなかったことが述べられており、選択肢①が正解だとわかる。

問17：最初、女性は通りで見かけた人を有名な俳優だと友人の男性に伝えるが、最終文で Oh, you're right. That's not him.と述べている。このことから選択肢②が正解だとわかる。選択肢②の mistake A for B「AをBだと勘違いする」という表現に注目する。

第4問A

問1：単一の人物によるやや長めの発話を読み上げられ、グラフ中の4つの空所を埋める問題。

問2：単一の人物によるやや長めの発話を読み上げられ、情報をもとに表中の4つの空所を埋める問題。

【読み上げ回数】1回

【スクリプト】70～100語程度

【配点】4点・1点×4

◆問われる知識・技能◆

第4問Aはグラフを完成させる設問と表を完成させる設問で構成される。グラフを完成させる設問では誤りの選択肢はないが、1回しか音声を聞くことができないので、メモを取るなど情報を頭に残しておくよう工夫が必要である。それぞれ1つの英文で4つの設問に答えていくことになるので、内容把握が大切である。

問 18-21：後半部分にまとめて解答の根拠が出てくるので注意。“going out with friends,” with 30 percent は比較的聞き取りやすいが、次の half that percentage of students selected “working part-time”が難しい。that percentage=30%とわかれば、working part-time はその半分の15%だとわかるが、that が弱形で発音されているので非常にわかりにくくなっている。“playing online games” received a quarter of all the votes は a quarter が4分の1、すなわち25%であることを理解したい。最後に聞こえてくるのが、The third most selected category was “studying,”である。そして... which came after “playing online games.”と続くので、studying が全体の3番目であることがわかる。ここまで絞り込むことができれば、working part-time が4番目であることがわかるので、that percentage =30%を聞き逃していてもまだ正解を選ぶチャンスは残されていたことになる。長めの英文を聞き取るときは、多少聞き逃したところがあっても最後まで集中力を切らさないことがポイントである。

問 22-25：表中の空所を埋めるためには、何パーセントの割引かを聞き取る必要がある。まず、Basically, the discount rate depends on their release date.から、古いものの割引率が高いと予測する。次に、The price of any title released in the year 2000 and before is reduced 30%.と Titles that were released between 2001 and 2010 are 20% off.から、それぞれの割引率が把握できる。また、Anything released more recently than that isn't discounted.から、最近の映画には割引が適用されないこと、The titles with a star are only 10% off から、★印の作品は10% off であることがわかる。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問 18-21：選択肢に注目するよりは、聞こえてきた要素をグラフに直接書き入れていくほうがよいだろう。結果的には、Working part-time 以外は Going out with friends, Playing online games, studying が聞こえてきた順にそれぞれ1番目、2番目、3番目であった。したがって、問18 ①、問19 ②、問20 ③、問21 ④と選択肢の順番どおりになる。

問 22-25：問22は★印なので選択肢① 10%。問23は2003年の作品なので選択肢② 20%、問24は★印なので選択肢① 10%、問25は最近の作品なので選択肢⑤ no discount となる。

第 4 問 B

4 人の発話が順番に読み上げられ、提示された 3 つの条件をすべて満たす一つを選択する問題。

【読み上げ回数】1 回

【スクリプト】30～50 語×4

【配点】4 点

◆問われる知識・技能◆

問 26：1 人ずつ発話がなされ、合計 4 人の発話を聞くことになるが、アメリカ英語以外の多様な英語も聞くことになる。音声の変化に惑わされて内容を聞き逃さないように注意。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問 26：提示された状況と条件、また問いにすばやく目を通し、その内容を理解しておくこと。場合によっては印などを付けておくのも有効である。特に「条件」をよく理解しておこう。表が与えられているので、Condition A：楽しいコメディ、Condition B：人気がある、Condition C：平日の公演、などのように表にメモを書いておくのも有効である。正解の選択肢②のミュージカルの特徴は以下のとおり。

② My Darling, Don't Make Me Laugh：

条件 A（コメディ）に合致：I laughed the whole time.

条件 B（人気がある）に合致：... but already has very high ticket sales

条件 C（平日の公演）に合致：Actually, that's why they started performing it on weekends, too.

☆特に条件 C は「週末も公演を始めた」という状況から類推する必要があるので注意。

以下、①、③、④については合致しない条件について提示する。

① It's Really Funny You Should Say That!：

条件 A と合わない：× It's pretty serious, but it does have one really funny part.

条件 B と合わない：× I don't know why it's not higher in the rankings.

③ Sam and Keith's Laugh Out Loud Adventure：

条件 C と合わない：× it's only on at the weekend

④ You Put the 'Fun' in Funny：

条件 B と合わない：× For some reason, it hasn't had very good ticket sales.

以上のように、複数の情報を把握し、条件がすべて合致するものを選ばなければならないのがこの設問の難しさである。また、1 回しか音声を聞くことができないので、集中力を切らさないことがポイントである。複数の異なる見解を聞き、それぞれの話者の意図を把握して、条件に合致させるという、まさしく思考力・判断力を問う典型的な問題であろう。

第 5 問

単一の人物による長めの発話を読み上げられ、ワークシート中の空所を埋めながら、講義の骨子を把握する問題。および、その続きの発話を読み上げられ、最初に読み上げられた情報と提示された図表とを合わせて正しい内容を選ぶ問題。

【読み上げ回数】1 回

【スクリプト】160 語程度・30 語程度

【配点】2～4 点

◆問われる知識・技能◆

問 27-32：まとまった長さの講義を聞き、ワークシートを完成させ、講義内容に対する内容一致に答える必要がある。また講義自体は Popular Image of Hygge → Real Hygge in Denmark と続くが、設問は Popular Image of Hygge が問 28 と問 30, Real Hygge in Denmark が問 29 と問 31 となっており、マークミスに注意。

問 27：放送された英文：to develop new approaches to economic sustainability for the sake of happiness and well-being が選択肢② a sustainable economy supporting と一致する。

問 28：放送された英文：But hygge is not about the material things we see in popular images like candlelit rooms and cozy bedrooms with hand-knit blankets. から、Hygge の popular image がわかる。これをふまえると選択肢①が問 28 に入る。

問 29：放送された英文：The main point of hygge is to live a life connected with loved ones while making ordinary essential tasks meaningful and joyful. から選択肢②が問 29 に入ることがわかる。

問 30：問 28 と同じ箇所の candlelit rooms and cozy bedrooms with hand-knit blankets から、選択肢⑤ indoors が問 30 に入ることがわかる。

問 31：放送された英文：Real hygge happens anywhere — in public or in private, indoors or outdoors, with or without candles. から、選択肢④ everywhere が入ることがわかる。

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

放送される英文から要点を把握していくには、幸福観が物質的なものなのか精神的なものなのかという対比関係を押さえておくことが重要だろう。こうすることで話の展開を予測することができるようになる。つまり、普段からさまざまなトピックに関する知見を深めておくといだろう。

問 32：放送された英文：Danish people willingly pay from 30 to 50 percent of their income in tax. These high taxes pay for a good welfare system that provides free healthcare and education. が選択肢④ Danish people's welfare system allows them to live meaningful lives. と一致する。

問 33：選択肢① People in Denmark do less overtime work while maintaining their productivity. のみが、グラフと放送された英文 Denmark has above-average productivity の両方に一致する。

第 6 問 A

2 人によるやや長めの対話を読み上げられ、2 人の主張の要点を選択する問題。

【読み上げ回数】1 回

【スクリプト】190 語程度

【配点】各 3 点

第 6 問 A は Sho のフランス留学に対する考えに対して Jane が自分の意見を述べるという、2 人の対話を通したディスカッション形式の内容である。Sho の立場は「フランスに留学するならばフランス語の母語話者とともに過ごしたい」である。これに対して Jane はフランスという国が持つ多様性に言及し、「多種多様なバックグラウンドを持つ人と交流したほうが本当のフランスというものが理解できる」と主張する。Sho と Jane のやり取りの流れを把握し、それに基づいて設問に答える力が要求されている。

◆問われる知識・技能◆

異文化理解についてのディスカッションなので、対話文とはいえ難しい語彙・文構造が多い点に注意する。

It turns out ... 「…だとわかる、判明する」、variety 「種類」、multilingual 「多言語の」
a genuine feel of ... 「…についての本当の感覚」、what France actually is 「フランスの実際の姿」
have the option of ... 「…という選択肢がある」、the same applies to ... 「同じことが…にも当てはまる」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

放送される英文から Jane の「意図」や Sho の「決断」を読み取ることが要求されている。

問 34 : Jane は以下に示すように、フランスは多様性のある国で、フランス語のネイティブスピーカーと交流することが優先事項 (priority) であるとは限らないと述べている。これらのうち一つだけでも解答の根拠になるが、このように複数の箇所を根拠にして答えを求められている点に注意。

- ・ Sho, there are many varieties of French.
- ・ What's "real," anyway? France is diverse.
- ・ Staying with a multilingual family could give you a genuine feel of what France actually is.
- ・ Yes, and another student got a non-native French-speaking roommate who was really friendly.

これらの根拠をふまえると選択肢③ Living with a native speaker shouldn't be a priority. が答えだとわかる。

問 35 : Sho はこの対話の冒頭でフランス語母語話者のホストファミリーが見つからないと述べている。これに対して Jane の意見は、必ずしもフランス語母語話者にこだわる必要はなく、むしろ多様性がある環境こそがフランスの姿だというものである。Sho はこの考えを受け入れ、最後には Maybe it doesn't matter if my roommate is a native speaker or not. と述べている。結果的に Sho には、ホストファミリーのところに滞在するか、寮に滞在するかという選択が残るので、選択肢③ Whether to stay with a host family or at the dormitory が正解となる。

第 6 問 B

問 1: 4 人による長めの会話が読み上げられ、賛成した人の数を選択する問題。

問 2: 会話のメインとなる人物の意見を支持する図表を選択する問題。

【読み上げ回数】1 回

【スクリプト】200 語程度

【配点】各 4 点

4 人のディスカッション形式で会話が進行する。特に Yasuko という登場人物が日本人英語のアクセントで話をするが、子音の発音が弱くなった程度のもので、それほど違和感のあるものではなかった。「レシートの電子化」という賛成・反対の意見が分かれるテーマであったので、その点に注意して聞くのがよい。

◆問われる知識・技能◆

第 6 問 A に続いてディスカッション形式なので、難しい語彙・文構造が多く登場する。文字として目にしたら意味がわかる単語でも音で聞くとわからない、ということがないように普段から音声を意識した英語学習を心がけよう。

huge 「巨大な」、a waste of paper 「紙の無駄」、the next time S+V 「次に S が V するとき」

harmful chemicals 「有害物質」、prohibit 「…を禁止する」、ban 「…を禁止する」

proof of purchase 「購入の証明」、refund 「返金」、via 「…によって」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

第 6 問 B は 4 人のディスカッションを聞き、問 36 では「レシートの電子化に賛成した人数」を答え、問 37 では Luke の意見を表すグラフを選ぶ。4 人が入れ代わり立ち代わり発言する中で、だれがどの意見を述べたのかを整理する必要がある。メモを取るのが必須であろう。

問 36: レシートの電子化についてはっきりと賛成の立場を示しているのは Kate のみである。したがって選択肢① 1 人が正解だとわかる。

Kate の発言

- ・ It's so wasteful. Also, receipts might contain harmful chemicals, right Michael?
- ・ We should prohibit paper receipts.
- ・ No way! There should be NO paper option.

Yasuko は I recently heard one city in the US might ban paper receipts by 2022. など「事実」を述べてはいるが、レシートの電子化に賛成の立場を明確に述べているわけではないので、賛成した人の数には入らない。

問 37: Luke の意見は Anyway, paper receipts are safer, and more people would rather have them. とあるようにレシートに関するものである。レシートについてのグラフは選択肢②のみなので、これが正解だとわかる。

5 最後に

◆日頃のリスニング学習をどのようにおこなっていくか◆

■毎日英語を聞く習慣作りが大切！

共通テストに対応するために日頃からどのようなリスニング学習をおこなっていけばよいだろうか。共通テストのリスニングではかなりの量の英語を聞き、それに対する設問に答えていかなければならない。このようなテストに対応するために大切なことは、少しずつでよいので、毎日継続的に英語の音声に触れていくことである。そうすることで英語から情報を得る習慣作りになる。

■さまざまなアクセントの英語に触れてみよう！ YouGlish のススメ

毎日のリスニング学習をしていく中で、いろいろなアクセント（なまり）の英語に触れておくのも有効である。共通テストではさまざまなアクセントの英語を聞くことができた。現時点では、解答に影響が出るほど強いアクセントが使われているわけではないが、これまでのような画一的な英語の音声ではなく、さまざまな種類の英語の音声がますます採用されていくことが予測される。それに対応するためにも、映画、インターネットのニュースサイト、動画サイトなどを活用し、さまざまな英語のアクセントに触れる機会を持つとよいだろう。

ここで YouGlish (<https://youglish.com/>) というサイトを紹介したい。これは英語の発音の確認ができるインターネットサイトで、キーワードを入力すると、そのキーワードを含んだ YouTube の動画の検索が可能になる。このサイトは、アメリカ英語、イギリス英語、そしてオーストラリア英語と、英語のアクセントに分けて検索可能なので、さまざまなアクセントの英語を聞くための足掛かりとして有効である。このサイトを活用しながら、代表的な音変化である 1) 短縮 (contraction), 2) 脱落 (elision), 3) 連結 (linking), 4) 同化 (assimilation), 5) 強形と弱形 (strong & weak form), 6) 抑揚 (intonation) といった要素を確認することも可能である。このように、英語の音声の特徴を意識してリスニングや音読などに取り組むことが日々のリスニング学習として有効である。

◆リスニング問題を攻略するための 2 つの柱◆

■選択肢を先読みして聞き取るべき情報を整理する！

1 回しか聞くことができない問題が多いので、「何を聞くべきか」を意識する必要がある。何を聞くかというポイントは設問やその選択肢の中に含まれている。そのポイントをふまえておくことで、リスニングをする際に必要な情報だけが頭に残るようになるのである。共通テストのリスニングでは私たちにとって身近な話題が出題されることをふまえると、普段から英語に触れる機会を作ることが大切である。もちろん、共通テストのリスニングは選択肢も英語で書いてある以上、選択肢に目を通すときも、自分の英語力を駆使することになる。英語で情報を処理することにどれほど慣れているかが、ここで述べた情報処理の力に影響を与えている。

■すばやくメモを取る習慣をつける

共通テストのリスニングは、多いときは、およそ 200 語程度の英文（第 6 問）を聞いて設問に答えなければならない。このような長めの英文のメモを取るにはある程度練習時間が必要である。メモの取り方は千差万別で、自分なりのやり方を見つけるのが最善の方法である。自分なりのメモの取り方を確立できれば、より多くの情報を頭の中に入れておくことができる。これは同時通訳の現場で用いられる方法論なので、それを活用しない手はない。自分のメモの取り方というものが完成すれば、これまで以上に英語のリスニングを楽しむことができるだろう。

(令和 3 年 2 月 10 日)

本分析資料のほか、他教科・他科目の分析資料(PDF)もダウンロードできます。



第一学習社

広島本社

733-8521 広島市西区横川新町 7-14

TEL 082-234-6800